



■発行/公益財団法人 愛媛県スポーツ振興事業団

■愛媛県武道館

開館時間/午前9:00~午後9:00

休館日/毎週月曜日(月曜日が休日の場合は、直後の休日でない日)
年末年始

住所/愛媛県松山市市坪西町551番地

T E L / 089-965-3111

F A X / 089-965-3388

ホームページ / <http://www.ehimekenbudokan.or.jp>

予約システム / https://www.pref.ehime.jp/s_yoyaku/servlet/Top

第四十三号

TOPIX

- 1 少林寺拳法の修行を通じて自己肯定感を高める(少林寺拳法)
- 2 JOCジュニアオリンピックカップ 第26回全国中学生なぎなた大会(なぎなた)
- 3 平成30年第13回愛媛県合気道連盟講習会の開催(合気道)
- 4 武道館事業 報告

少林寺拳法の修行を通じて自己肯定感を高める

執筆/愛媛県少林寺拳法連盟 理事 溜池 透奥太

開祖 宗道臣は、すべてのものが「人」によって行われるとすれば、真の平和の達成は慈悲心と勇気と正義感の強い人間を一人でも多く作る以外ないと気づき少林寺拳法を創始されました。

少林寺拳法の修練の目的は、己を修め、己に克ち、自己を確立して、それを寄り所とするに足る人間になること、力に裏づけされた勇気と行動力を持った人間になることです。



武道入門講座

り、喜ぶべきことであるし素晴らしいことだ。しかし視点を変えてみると、競う相手が未熟ならばたとえ勝ったとしても喜びはそれほどではないかもしれないし、そもそも出場者が自分ひとりであれば勝つということも不可能である。

相手の存在がなければ自分の修行の成果は認識できないということである。そうであるならば技の習得の速い遅いにかかわらず、少林寺拳法の修行は自分のためでもあるが相手のためでもあるし、相手の上達にも貢献していると思えることができるようになれば、自分のことを高く評価し肯定感を高めることは可能である。

指導者としてこのような「気づき」を与えることができれば、より良い社会貢献になると考える。

少林寺拳法の修練は組手主体の修行体系をとっており、相手がいなければ修練することは難しい。自分も強くなるが、相手にも強くなってもらうというものである。

そう考えると自分以外の他人のおかげで少林寺拳法の修行は成り立っているということである。

現代社会における武道の果たすべき役割とは、単なる生存競争のための手段だけではなく、圧倒的な利他の思考を学ぶ手段である。

例えば大会に出場し、優勝したとする。それは日々の修練の成果であ



平成30年度愛媛県大会の様子

少林寺拳法

Shorinji Kenpo

JOCジュニアオリンピックカップ 第26回全国中学生なぎなた大会

執筆／愛媛県なぎなた連盟常任理事 佐伯 真紀

平成30年7月28日(土)・29日(日)に愛媛県武道館に於いて表記大会が開催される予定でしたが、29日(日)は極めて異例の進路をたどった台風12号の影響で警報が発令されたため、残念ながら中止となり、初日のみの大会運営になりました。

愛媛県は7月初旬の西日本豪雨により、県下各地に甚大な被害を受けました。今回の台風について行政からの通達もあり、選手・監督及び大会運営補助員の安全を第一に考えた苦渋の決断となりました。これにより二日目に予定していた男子個人戦を繰り上げ、28日(土)に演技競技を引き続き、行う運びとなりました。

28日午後3時より、全国から117チーム354人の選手が参加し開会式が行われました。

選手入場に続き、畠瀬美佐子大会委員長の開始宣言、愛媛県なぎなた連盟久保素子会長による歓迎の挨拶、地元の代表として北条なぎなたスポーツ少年団の中屋多可実さんによる愛媛の魅力をつぶり紹介した歓迎の言葉、選手を代表して愛媛県立今治東中等教育学校 前田理愛さんの元気溢れる選手宣誓が行われました。大会は、参加109チームによる白熱した戦いが繰り広げられました。

中学生らしい基本に忠実で伸びやかな動きで、気力に満ちた発声が会場に響き一戦一戦目を見張るものがありました。

表彰式に先立ち、公開演武が行われました。[愛媛、松山を元気に]との思いで結成されたおやしダンサーズによる楽しい踊りは、会場の皆様



演技競技

にも元気を届けてくれたのではないのでしょうか。表彰式では選手たちの奮闘に惜しみない拍手が送られ戦いの幕が閉じました。

やむなく一日だけの競技運営でしたが、多くの関係者のご協力ご支援のもと本大会を開催出来ました。昨年のえひめ国体開催にあたり、7年前に実施されたエンジョイ大会、2年前には、都道府県大会、昨年のえひめ国体、今回の中学生大会、愛媛県開催の全国大会のすべてが滞りなく終了しことに安堵しています。支援していただいた多くの方々に心から感謝申し上げます。

最後になりましたが、西日本豪雨により被災された方々にお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。また、宮城県の大崎市立岩出山中学校なぎなた部の皆様には、西日本豪雨義援金を松山市役所まで届けていただき、誠にありがとうございました。思いやりのある行動に胸が熱くなりました。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。



開会式

平成30年第13回愛媛県合気道連盟講習会の開催

執筆／愛媛県合気道連盟 専務理事 沖浦達幸

- 開催日時／平成30年10月14日(日) 午前10:00～12:00
- 場 所／愛媛県武道館柔道場
- 講 師／(公財)合気会本部道場 難波弘之師範(6段)



難波師範



会場の様子

愛媛県合気道連盟は、今年で13回目となる師範講習会を開催しました。毎年、本部道場からさまざまな師範をお招きしての講習会を行っており、今年は県内各道場から約160名が武道館柔道場に集まりました。

合気道は技をかける「取り」と、技をかけられる「受け」とで稽古します。いつもは、師範に「受け」専門の先生が同伴されるのですが、今回は師範お1人のみの来県であったため、「受け」は師範が参加者の中から都度指名して、模範演武を行った後に参加者全員が見取り稽古をするといったスタイルで行われました。しかし、見た目は優雅な師範の動きとは裏腹に、実際には厳しい技の連続であり、受けをとる者も必死で師範に挑んでゆ

くといった緊張感のある稽古となりました。次々と繰り出される切れ味鋭い師範の技の要所要所では、開祖植芝盛平翁が残された技の極意を教示していただきました。

師範と参加者とが一体となって心地良い汗をかいているうちに、あっという間に時間が経ってしまい、閉会式では師範も「今日はとても楽しい稽古ができた。」と所感を述べられていました。

稽古の後には、師範も含めて参加者全員が笑顔になれるのが合気道の稽古の醍醐味でもあります。今回の講習会でも、初心者から高段者までそれぞれのレベルに応じて得られるものが盛り沢山であり、各道場で今後の日々の稽古に活かされることと思います。



2018.10.14 合気道連盟講習会



武道館事業報告



愛媛県武道館 中期卓球大会で 198名が熱戦を展開!!

愛媛県武道館の中期卓球大会を平成30年10月18日(木)に主道場で開催しました。今回、レディースダブルスとミックスダブルスの2種目の募集をしたところ99組198名(レディースダブルス55組、ミックスダブルス44組)と過去最多の参加がありました。午前9時20分から予選リーグ戦。午後からは順位決定トーナメントで熱戦が展開されました。

主な入賞者は以下の通りです。

■レディース ダブルス

優勝 / 兵頭真由美、山村洋子(AIKA1)
準優勝 / 稲田安子、二宮真理子(PAL)
第3位 / 熊野千恵、松本すづ子(媛卓会3)

■ミックス ダブルス

優勝 / 中村慶一、田中真喜子(ハート2)
準優勝 / 崎山達也、岩山政子(ピオラ・松)
第3位 / 都築修造、鎌田ふさみ(チームT・K)

次回は、1月24日(木)に愛媛県武道館・後期・卓球大会を開催予定です。



第3回 運動神経がUPする 体操講座を実施!!

平成30年10月27日(土)に愛媛県武道館の柔道場で「第3回運動神経がUPする体操講座」を開催しました。今回は「バランス力を身につけよう!」というテーマで幼児を対象に行いました。(42名参加)

最初は、動物モノマネ体操でゾウやペンギン等の動物になり切って体をほぐしました。次に座骨でバランスをとりながら両足をあげて足ジャンケンを行いました。最後は、ミニハードル、バランスボード、ストレッチポール等の障害物の上を歩いたり、飛び越えたりする平衡感覚を養うトレーニングを行いました。子どもたちは、楽しそうに広い柔道場を走り回っていました。

次回は、12月9日(日)に第4回目の講座を愛媛県武道館の柔道場で開催します。興味のある方は、ぜひ、お申し込みください。



愛媛県武道館ホームページ

